

中間報告書

2023年4月1日から2023年9月30日まで

Logistics, Progress, Borderless.

YASDA

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、第156期の中間報告書（2023年4月1日から2023年9月30日まで）をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっており、先行きは不透明な状況が続いている中、当社グループは、2030年のあるべき姿としての「長期ビジョン2030」と、長期ビジョンを実現するための計画として中期経営計画「変わらず、変える。YASDA Next Challenge 2024」を策定し、事業体制の構築と更なる成長を目指してまいりました。物流事業では、シンガポール及びインドに新会社を設立し、フォワーディング業を営むWorldgate Express Lines Pte Ltd（シンガポール）、Worldgate Express Lines International Pvt Ltd（インド）との間で事業譲渡契約を締結して海外・国際物流のサービスメニュー拡充を推進いたしました。また、不動産事業では、横浜市鶴屋町の再開発工事への着手などの価値向上施策及び保有不動産の維持管理により、高い稼働率を維持し、安定的な業績に貢献いたしました。

当期の中間配当につきましては、1株につき13円50銭（前中間比1円増）とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

藤井 信行

2023年12月

「長期ビジョン2030」～次の100年に向けて～

世界に誇れるYASDAブランドと革新的テクノロジーの融合で

全てのステークホルダーの期待を超える企業グループを目指す

中期経営計画「変わらず、変える。YASDA Next Challenge 2024」基本方針

最先端テクノロジーと人間力を融合した、「YASDA Value」で

多様化する社会とお客様ニーズに応える。

事業の概況（連結）

当中間期における当社グループの業績は、営業収益は物流事業、不動産事業とも堅調に推移し、前年同期比3,306百万円増（11.2%増）の32,896百万円となりました。営業利益は、新規企業結合に伴う販管費等の増加により前年同期比88百万円減（7.2%減）の1,141百万円、経常利益は、為替差益の減少により前年同期比264百万円減（12.3%減）の1,886百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比233百万円減（16.6%減）の1,175百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

物流事業では、海上運賃の下落により国際貨物取扱料が減少したものの、新規取引の開始や既存顧客の取引拡大、倉庫・輸配送ネットワークの拡充などにより倉庫保管料、作業料、陸送料で増収となり、営業収益は前年同期比3,419百万円増（12.8%増）の30,103百万円、セグメント利益は前年同期比49百万円増（3.4%増）の1,509百万円となりました。

不動産事業では、既存施設の稼働率向上により不動産賃貸料は堅調に推移しましたが、施工工事の減少により営業収益は前年同期比152百万円減（4.8%減）の3,005百万円、セグメント利益は前年同期比11百万円減（1.1%減）の1,009百万円となりました。

ハイライト情報 (連結)

● 営業収益



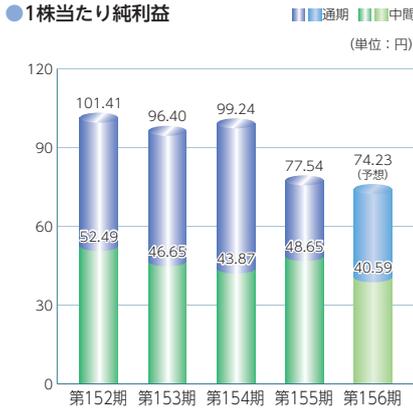
● 経常利益



● 親会社株主に帰属する純利益



● 1株当たり純利益



● 総資産



● 純資産



(注) 1. 上記に記載した予想数値は、2023年11月2日現在で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。
2. 当社は、第153期より「株式給付信託 (BBT)」を導入しており、1株当たり当期純利益の算定上の基礎となる普通株式の期中平均株式数については、当該信託が保有している当社株式を控除対象の自己株式に含めて算定しております。

連結財務諸表

連結貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 2023年9月30日現在	前期末 2023年3月31日現在
資産の部		
流動資産	29,619	28,771
固定資産	153,932	137,233
有形固定資産	86,750	80,233
無形固定資産	7,918	7,957
投資その他の資産	59,263	49,042
資産合計	183,551	166,005
負債の部		
流動負債	21,273	22,249
固定負債	76,774	66,383
負債合計	98,048	88,632
純資産の部		
株主資本	47,619	46,836
その他の包括利益累計額	37,500	30,157
非支配株主持分	382	378
純資産合計	85,503	77,372
負債純資産合計	183,551	166,005

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (累計) 2023年4月1日から 2023年9月30日まで	前第2四半期 (累計) 2022年4月1日から 2022年9月30日まで
営業収益	32,896	29,589
営業総利益	3,773	3,189
営業利益	1,141	1,229
経常利益	1,886	2,150
法人税等	644	671
四半期純利益	1,183	1,445
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,175	1,409

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (累計) 2023年4月1日から 2023年9月30日まで	前第2四半期 (累計) 2022年4月1日から 2022年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,065	2,697
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,691	△2,919
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,664	△1,955
現金及び現金同等物に係る換算差額	242	480
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△718	△1,696
現金及び現金同等物の期首残高	15,101	18,199
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,382	16,502

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

詳細は、当社ホームページの「IRライブラリー」をご覧ください。

安田倉庫 IR

検索

■ 業績の見通し (連結)

当中間期の当社グループの業績は、営業収益は概ね公表予想並みに推移し、コスト構造改革や利益向上の取り組みの推進に伴う各種営業原価・営業費用の圧縮や業務合理化などにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益については公表予想を上回る結果となりました。

今後も依然として厳しい事業環境が続くことが予想されますが、当社グループは、物流事業においては、付加価値の高いサービスの提供に向けたソリューションの強化とネットワークの拡充により取引の拡大や物流施設の増強など事業基盤の強化を推し進め、また、不動産事業においては、保有不動産の維持管理と価値向上施策を通じ、稼働率の維持・向上や保有不動産の再開発促進に努め、収益の増加を図ります。

なお、当社グループの通期業績見通しについては、当中間期の実績及び今後の見通しを勘案して、ハイライト情報(前掲)のとおりとしております。2023年5月8日公表の内容は変更していません。

■ トピックス

1. シンガポール及びインドにおける新会社設立及び事業譲受

本年6月にシンガポール、7月にインドにおいて新会社を設立し、Worldgate Express Lines Pte Ltd (以下、「WGSJ」) 及びWorldgate Express Lines International Pvt Ltd (以下、「WGIJ」) との間で、WGS及びWGIの全ての営業権を譲受する契約を締結いたしました。WGSは30年以上、WGIは20年以上にわたり主にフォワーディング業を営む物流会社で、アジアの主要な貿易港を有するシンガポールと、世界最大規模の人口を有し経済発展が見込まれるインドにおいて、幅広い物流サービスを提供し安定的な業績を維持しております。今後も、海外・国際物流のサービスメニューの更なる拡充を図ってまいります。



WGS入居ビル



WGI入居ビル

2. グループ会社化によるメディカル物流事業、倉庫・輸配送ネットワークの拡充・強化

本年3月、メディカル物流事業を拡充・強化すべく、エーザイ株式会社からエーザイ物流株式会社(10月に安田ロジファーマ株式会社へ社名変更)の全株式を取得いたしました。これにより、国内屈指の医薬品物流プラットフォームを構築し、安定した総合メディカルサービスを提供することが可能となります。

また、本年4月、倉庫・輸配送ネットワークの全国への拡大を推進すべく、OSO株式会社(4月にYSO Logi株式会社へ社名変更)の全株式を取得いたしました。同社は、京都府八幡市を中心に運送業、倉庫業を展開し、当社と同社の持つ物流ネットワークを共有することで生まれるシナジーによって、倉庫・輸配送ネットワークとサービスメニューを更に拡充してまいります。



安田ロジファーマ株式会社 本社



YSO Logi株式会社 本社



3. 倉庫現場におけるDX (デジタルトランスフォーメーション) 推進

当社グループは倉庫内作業の省人化・省力化を目指し、倉庫現場にロボットを導入しております。本年9月には、NHK WORLD-JAPANのテレビ番組「BIZ STREAM」で、最新のロボット技術で物流現場を変革する企業として、AMRを開発・提供したラピュタロボティクス株式会社と共に当社が紹介されました。今後も最先端テクノロジー・デジタル技術を活用し、DX推進に取り組んでまいります。



メディカル物流現場に導入した無人搬送フォークリフト



作業者と協働して貨物のピックアップを行うAMR (自律走行搬送ロボット)

4. ESGへの取り組み

当社グループは持続可能な社会の実現に向けて「低炭素・循環型社会への貢献」を掲げております。今般2022年度のCO₂排出量測定結果に基づき、2030年度までのCO₂排出量削減目標を設定いたしました。詳細につきましては右の二次元コードよりご覧ください。

https://www.yasuda-soko.co.jp/Portals/0/images/info/pdf/info_230628.pdf

また当社は、国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」に基づき、安田倉庫グループ人権方針を策定いたしました。加えて、本方針の策定に伴い国連グローバル・コンパクトに賛同する署名を行い、本年8月に参加企業として登録されました。今後は本方針に基づき、当社グループの人権尊重の取組をより一層推進し、持続可能で豊かな社会の実現と事業の継続的な発展の両立を目指してまいります。



会社の概況 (2023年9月30日現在)

- 商号 安田倉庫株式会社
Yasuda Logistics Corporation
- 本店 東京都港区芝浦三丁目1番1号
- 創立 1919年12月20日 (大正8年)
- 資本金 36億210万円
- 当社グループの主要な事業内容
物流事業
倉庫業、運送事業、利用運送事業、通関業、港湾運送事業
不動産事業
不動産業 (ビル、土地、駐車場等の開発、賃貸、売買、仲介、管理)
- 当社グループの従業員の状況
連結従業員数 2,212名 (内、安田倉庫従業員数 478名)

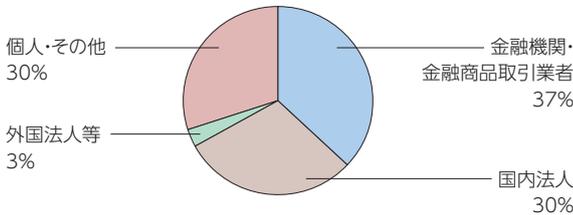
当社の取締役、執行役員及び監査役

代表取締役社長	藤井 信行	執行役員	細井 昌彦
執行役員	小川 一成	執行役員	木下 徹
取締役常務執行役員	武藤 博幸	執行役員	井上 薫
取締役常務執行役員	松井 正	執行役員	細田 圭介
取締役	井福 正博	執行役員	高濱 尚志
取締役	曾禰 寛純	執行役員	財津 慶一
取締役	坂本 森男	執行役員	浅野慎一郎
取締役	周藤 晴子	執行役員	赤沼 孝
常務執行役員	小泉 眞吾	常勤監査役	鷲谷 輝雄
常務執行役員	鷗飼 巖	常勤監査役	藤原 和雄
常務執行役員	青木 健太	監査役	藤本 聡
常務執行役員	佐藤 陽一	監査役	梅本 武文

(注) 1. 取締役井福 正博、曾禰 寛純、坂本 森男、周藤 晴子各氏は、社外取締役であります。
2. 監査役藤本 聡、梅本 武文各氏は、社外監査役であります。

株式の状況 (2023年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 1億1,850万株
- 発行済株式の総数 3,036万株
- 株主数 13,416名
- 所有者別株式分布



大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
損害保険ジャパン株式会社	2,045	7.03
明治安田生命保険相互会社	1,604	5.51
東京建物株式会社	1,603	5.51
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,593	5.47
株式会社みずほ銀行	1,253	4.31
大成建設株式会社	1,252	4.30
東京海上日動火災保険株式会社	1,122	3.86
安田不動産株式会社	1,020	3.51
株式会社中央倉庫	982	3.37
ヒューリック株式会社	963	3.31

(注) 1. 当社は、自己株式を1,255,602株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 出資比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 同総会基準日 3月31日
その他、必要あるときは、取締役会の決議によりあらかじめ公告いたします。
- 配当金基準日 期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人 特別口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社
- 同事務取扱い場所 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
- 公告方法 電子公告とし、当社ホームページ
<https://www.yasuda-soko.co.jp/ir/tabid/136/Default.aspx>に掲載いたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 上場取引所 東京証券取引所 プライム市場
- 証券コード 9324

お問い合わせ先

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続きお取扱い店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更及びマイナンバーのお届出等)	お取引の証券会社等	みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 ※トラストラウジではお取扱いできませんのでご了承ください。
株主総会資料の電子提供制度 (書面交付請求) についてのお問い合わせ	お取引の証券会社または右記みずほ信託銀行までお問い合わせ願います。	電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び全国各支店	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続きお取扱い店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行って頂く必要があります。

ホームページのご案内

当社のHPでは、会社情報、IR情報等様々な最新情報を掲載しております。ぜひ、ご覧ください。

<https://www.yasuda-soko.co.jp/>

安田倉庫

検索



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

